

リメンバー新聞

115号

2022年6月4日

編集・発行
リメンバー名古屋自死遺族の会
<http://will.obi.ne.jp/remember/>
remember_nagoya@yahoo.co.jp
FAX:050-3588-8097 (変更)
郵便:〒612-8799
京都市伏見区塙木町1148
伏見郵便局留 リメンバー名古屋

11月
13日

「リメンバーin岡崎」を開催予定

今年度も、岡崎市において「わかれあいの会」を下記のよう開催する予定です。今後のコロナウイルス感染の状況によっては、日程変更、中止の場合もあります。

日 時 2021年11月13日(日)

場 所 岡崎げんき館 愛知県岡崎市若宮町2丁目1-1

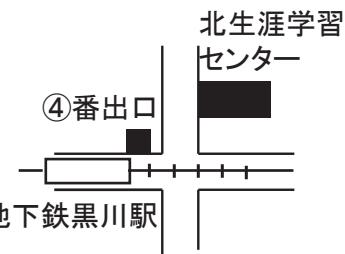
内 容 「自死遺族の分かれあいの会」

対象：自死遺族の方限定

次回の遺族会

第110回

6月5日(日)13:15から
名古屋北生涯学習センター
地下鉄名城線「黒川」下車
(4番出口)よりすぐ
参加費:500円



その次は…

第111回 8月を予定

※6月7日以降に日程が決まります。

日程は、ホームページまたは、電話案内でご確認いただけます。

パソコンの方

<http://will.obi.ne.jp/remember/>

携帯電話の方

<http://www.will.obi.ne.jp/m/>

電話案内(録音でのご案内)

090-8544-9408

自死遺族によるネット座談会

「スーカフェラジオ」のご案内

他団体からのご案内です。

以下のように「スーカフェラジオ」として、自死遺族によるネット上での座談会が行われます。

日時：2022年6月18日（土）14:00～15:00

原則 偶数月の土曜日 14:00-15:00

対象：大切な方を自死で亡くされた方、自死遺族支援に関心のある方（18歳以上）

主催：スーカフェ名古屋

<http://gatekeeper.jp/griefsupport/sucafенagoya/>

参加方法：Zoomウェビナー使用

事前申し込み不要。

当日ニックネームとメールアドレスをお知らせください。

※日程、参加方法などは上記ホームページをご覧ください

行政、民間で、自死の遺族向けに相談を行っているところがいくつ

かあります。また、「こんな相談先はないでしょうか？」など、ご不明なことがあれば、会のスタッフにお尋ねください。

-感染への不安を減らすため、ご協力をお願いします-

- ・アルコールでの手の消毒など（アルコールは準備します）。
- ・マスクをお願いします（予備は受付で準備します）。
- ・トーキングスティック（話す人が合図として持つもの）を使わない形で行います。
- ・大きめの輪か、できるだけ弧に近い形にします。
- ・お茶など飲み物は各自ご持参ください。

新聞郵送をご希望の方へ

1月～6月末までのお申し込み(前期)…1000円

7月～12月末までのお申し込み(後期)…500円

詳しくはスタッフまで

スタッフ募集

遺族会に参加したことがある方で、会の活動のお手伝いをいただける方募集しています。

詳しくはお問い合わせください。

近隣の遺族会のご案内

以下中止・延期の場合もありますので、直前にご確認の上、お出かけください。

次回「ディアレスト」のご案内

家族ではないけれども大切な人を自死で亡くされた方を対象に、遺族会「ディアレスト（Dearest）」が開催されています。今回はオンライン（Zoom）での開催になります。

日時：2022年7月24日（日）14:00 - 15:30

対象：家族以外の大切な人（恋人・婚約者・パートナー・親友・同僚・上司・部下・先輩・後輩・先生・生徒、など）を自死（自殺）で亡くされた方

連絡先：the.dearest1@gmail.com

<http://dearest.heyay.jp>

次回「～こころの居場所～AICHI自死遺族支援室」のご案内

下記のように、自死遺族の分かち合いの会を予定されています。詳しくは、ホームページをご覧いただけます。お問い合わせください。事前予約制です。

日時：2022年7月18日（祝・月）

場所：名古屋市市政資料館

参加費：500円

連絡先：cocoroibasyo@yahoo.co.jp

090-4447-1840 <http://cocoroibasyo.org/>

次回「いっぷく処」のご案内

さまざまな宗派の僧侶の方が集った「いのちに向き合う宗教者の会」による、自死遺族のわかちあい「いっぷく処」は、コロナ感染症のためしばらくお休みでしたが、以下のように開催されることが決まりました。

日時：2022年6月16日（木）

14:30-16:30（14時より受付開始）

場所：真宗大谷派名古屋別院（東別院）本堂下広間
(地下鉄「東別院」下車)

対象：大切な人を自死で亡くされた方

参加費：無料

申込：事前申し込みが必要です。6月9日（木）まで。

右QRコード、郵送、FAXで

主催：いのちに向き合う宗教者の会

連絡先：info@inochi.in

<http://inochi.in/>

真宗大谷派名古屋地区教化
センター

460-0016 名古屋市中区橘
2-8-55

FAX: 052-332-0900

担当:大河内

りめんばー

この5月、俳優の方、芸人の方が、自死で亡くなり、報道でも大きく取り上げられていました。よく知った顔の芸能人の方の自死は衝撃も大きく、以前もこの欄で書かせていただきましたが、どうしてもそのことに触れずにはいられない気持ちになりました。

ネット上の反応ぐらいしかわからないのですが、コメントを読んでいると、亡くなった人、遺族に対しても共感的な反応が以前に比べて多いように思われます。

自死の場合、遺族への共感と、亡くなった人への共感とは少し違うものです。亡くなった人への共感が、遺族への責めにつながったり、逆に、遺族への共感が、亡くなった人への責めにつながったりすることがあります。

遺族として、自分自身を責めることからはなかなか解放されずにいますが、少なくとも第三者からの責めが少なく、共感的になってきていることは、少しほっとする部分ではあります。

渡辺にも、彼を大好きだった方達にも、申し訳ない気持ちでいっぱいです。今は全ての苦しみから解放され、自由になれたのだろうと信じたいです。渡辺は、信じられないほど綺麗で、安らかな顔で旅立ちました。

夫である渡辺裕之さんの死を受けて、原田出子さんが、亡くなった7日後に出了された文章の一部です。自分自身を感じたことと重なる部分が大きく、心に突き刺されます。ただただ、亡くなった人の思い、遺族の思い、自死の重さが心に乗り掛かってくるばかりです。（KN）

